

動物園からこんにちは

札幌市立伏見中学校

第2学年理科資料

こんにちは。円山動物園の「幅崎」です。今月から再び管理課の仕事も担当することになりました。学校の学習への対応やホームページということですが、午前中は6月までと同じように「こども動物園」にいますので動物園に来たときは声をかけてくださいね。さて、今日は「砂漠の船＝ラクダ」の環境への適応です。



フタコブラクダは、砂漠に住むヒトにとって大切なパートナーです。たくさんの荷物やヒトを積んで遠い街から街へと旅ができたのもこの動物がいたからです。そのからだの特徴というと背中



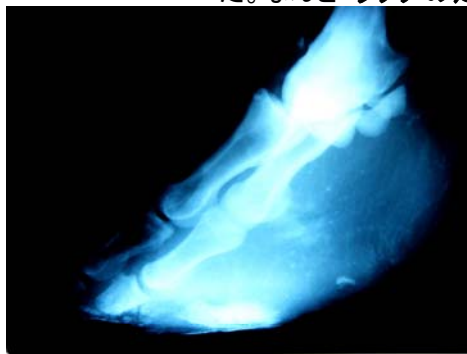
の大きなこぶにあります。中に水が入っているという話を聞いたことがありますか。本当は、ヒトのからだにもある皮下脂肪が、特に背中に集まった

ものです。逆にその他の部分には脂肪が少なく、熱を発散しやすいという特徴もあります。また、砂嵐から目を守る長いまつげや二重のまぶた、それに鼻も自由に閉じることができます。足にも特徴があります。柔らかい砂の上を安定して歩くためにもものすごく大きな足を持っています。ところで足の裏はどうなっているのでしょうか。分類上は「偶蹄目」ですので「ひづめ」、でも



左下の写真を見るとちよつと違うようです。

この疑問には「弓山」キーパーが資料を持っていました。なんと「ラクダの足のレントゲン写真」



です。ひづめにつながる骨格の下に白いかげ、この部分の皮下脂肪が、砂漠の灼熱地獄から足を守っていたのですね。環境に合わせた生物の不思議、ここにもありました。うまくできていますね。(偶蹄目 ラクダ科)

夏休みの宿題「動物園学習」!

札幌の動物園を使って札幌の中学生が学習する、あたりまえの宿題を出す予定です。現在、テキストの編集ですが、学期末までには皆さんの手元に届くように準備しますので楽しみに待っててください。学習日程は、自分(なかま)の都合で決めてOKですが、天候や動物の状態によっては、一度では解決できない可能性がありますので、2~3回は通うつもりで計画してください。しめきりは、後期に入ってから改めてお知らせします。完成次第、学校に提出してください。「しっかりと動物を見て」、「事実をもとに自分の考えをまとめた」レポートを楽しみにしています。

何でも行っていた円山動物園ですが、ちょっと注意してみること、多くの発見の毎日です。では、また。